2025/2/28

TDB Business View

株式会社帝国データバンク
岡山支店
岡山市北区下石井 2-2-5
ニッセイ岡山スクエアビル 5F
TEL：086-224-4681
URL：https://www.tdb.co.jp

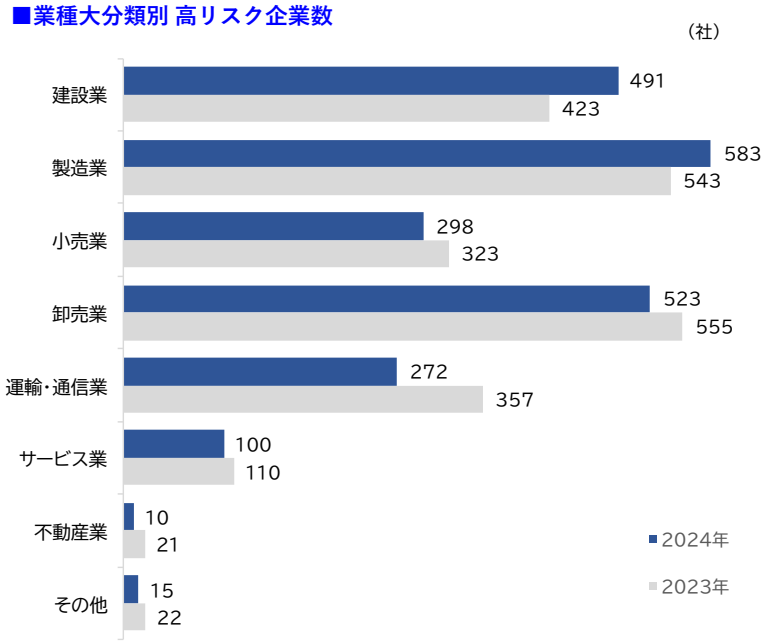
岡山県　「倒産リスク」分析調査（2024 年）

# 2292 社が倒産リスクに直面

## ～業種別、「建設業」が増加率 16.1%増で最も高く～

### はじめに

岡山県の 2024 年通年（1 月～12 月）倒産件数は 102 件となり、13 年ぶりに 100 件を超えた。負債総額は 135 億 1900 万円となり、3 年ぶりに 100 億円を上回った。また、休廃業・解散した企業（個人事業主を含む）件数は 958 件だった。前年（860 件）を 98 件（11.4%）上回り、2 年連続で増加して過去 5 年で最も多く、2024 年における倒産件数（102 件）の 9.4 倍となった。




そこで、帝国データバンクでは、企業が 1 年以内に倒産する確率を 10 段階のグレードで表す指標「倒産予測値」をもとに、リスクが高い企業（グレード 8～10）を「高リスク企業」と捉え、岡山県に本社を置く 2 万 3554 社を対象に分析を行った。

※倒産予測値とは今後 1 年以内に倒産する確率を個別企業ごとに算出したリスク指標。現地現認の信用調査と独自のネットワークによる変動情報などを集積した帝国データバンクが保有するビッグデータから、倒産に関係が深い要素だけに焦点を当て、独自の統計モデルにより算出。個別企業ごとに予測したリスク指標を G1～G10 の 10 段階のグレードに設定しており、G1 が最も倒産リスクが低く、G10 が最もリスクが高いグレードとなっていてグレードが高いほど実際に倒産が発生している。

### 調査結果（要旨）

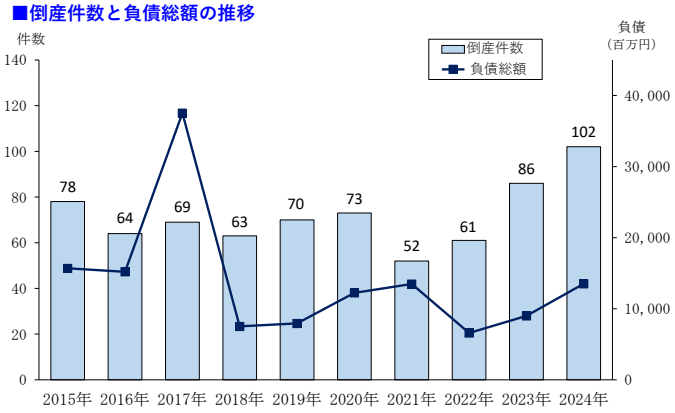
1. 高リスク企業数、62 社減の 2292 社。「建設業」「製造業」「卸売業」が 450 社を超える
2. 高リスク企業の増加率、「建設業」が 16.1%増で最も高く
3. 高リスク企業、売上高「1 億円未満」、従業員数「5 人未満」が最多

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

## 1. 倒産件数は 13 年ぶりの 100 件超え、負債総額は 3 年ぶりに 100 億円を超える

岡山県の 2024 年の倒産（法的整理・負債 1000 万円以上）件数は 102 件となり、3 年連続で前年を上回り、2011 年（133 件）以来 13 年ぶりに 100 件を超えた。負債総額は 135 億 1900 万円となり、2 年連続で増加し、3 年ぶりに 100 億円を上回った。業種別では、『建設』が 22 件で最も多く、『製造』が 19 件で続いた。

■倒産件数と負債総額の推移




負債の規模別では、『5000 万円未満』の小規模な倒産が 48 件で最も多く、全体の 47.1%を占めた。一方で、負債『10 億円以上』の倒産は 2 件で、前年より 1 件多く 2 年連続で増加した。

## 2. 高リスク企業数は 62 社減の 2292 社、増加率は「建設業」が 16.1%増で最も多く

企業が 1 年以内に倒産する確率を 10 段階のグレードで表す指標「倒産予測値」をもとに、リスクが高い企業（グレード 8～10）を「高リスク企業」ととらえ、分析したところ、算出対象企業 2 万 3554 社のうち、2024 年 12 月時点での高リスク企業数は 2292 社となった。前年（2023 年 12 月時点・2354 社）と比較すると、62 社の減少となった。なお、全体に占める比率は 9.7%で前年（9.9%）から 0.2 ポイント低下した。

■業種大分類別 高リスク企業数

| 業種大分類 | 2023年高リスク企業数 | 高リスク企業割合 | 合計 | 2024年高リスク企業数 | 高リスク企業割合 | 合計 | 件数（前年比） | 増加率（前年比） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建設業 | 423 | 6.2% | 6,783 | 491 | 7.3% | 6,736 | 68 | 116.1% |
| 製造業 | 543 | 19.8% | 2,749 | 583 | 21.5% | 2,710 | 40 | 107.4% |
| 小売業 | 323 | 14.3% | 2,259 | 298 | 13.5% | 2,200 | ▲ 25 | 92.3% |
| 卸売業 | 555 | 17.2% | 3,222 | 523 | 16.6% | 3,159 | ▲ 32 | 94.2% |
| 運輸・通信業 | 357 | 39.0% | 916 | 272 | 30.1% | 904 | ▲ 85 | 76.2% |
| サービス業 | 110 | 1.9% | 5,673 | 100 | 1.7% | 5,733 | ▲ 10 | 90.9% |
| 不動産業 | 21 | 1.5% | 1,421 | 10 | 0.7% | 1,445 | ▲ 11 | 47.6% |
| その他 | 22 | 3.3% | 659 | 15 | 2.2% | 667 | ▲ 7 | 68.2% |
| 合　計 | 2,354 | 9.9% | 23,682 | 2,292 | 9.7% | 23,554 | ▲ 62 | 97.4% |

**高リスク企業数**でみると、「製造業」が前年から 40 社増の 583 社で最も多かった。次いで、「卸売業」が 523 社（32 社減）、「建設業」が 491 社（68 社増）で続き、3 業種が 450 社を超えた。なお、「建設業」「製造業」の 2 業種は増加したが、ほかの 6 業種は減少した。特に、「運輸・通信業」の減少数は業種別で最も多かった。

**高リスク企業割合**でみると、「運輸・通信業」が 30.1%で最も高く、「製造業」が 21.5%、「卸売業」が 16.6%、「小売業」が 13.5%、「建設業」が 7.3%で続いた。なお、分析対象数が唯一 6500 社を超える「建設業」は 5 番目となった。

**増加率（前年比）**でみると、「建設業」が前年から 16.1%増となり、最も高かった。次いで「製造業」が 7.4%増となり、2 番目に高かった。一方で、ほかの 6 業種は前年から減少し、「不動産業」「その他」「運輸・通信業」は減少幅が大きかった。

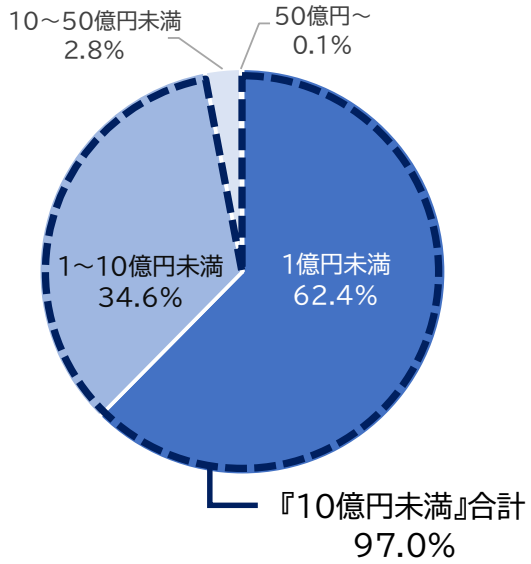
©TEIKOKU DATABANK, LTD.

## 3. 高リスク企業、売上高「1 億円未満」、従業員数「5 人未満」が最多

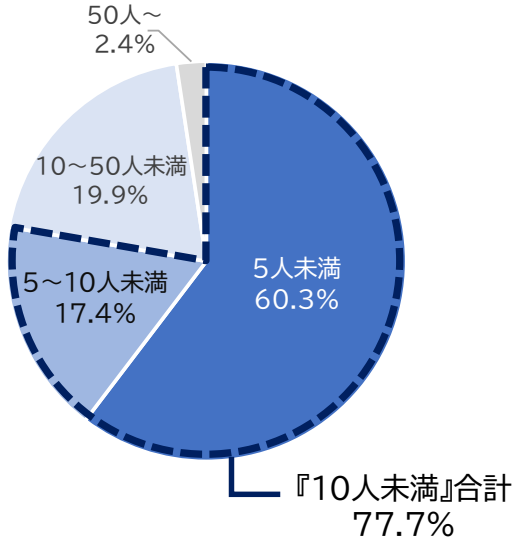
売上高別にみると、「1 億円未満」が構成比 62.4%（1430 社）と 6 割を超えて最も多かった。次いで、「1～10 億円未満」が 34.6%（794 社）となり、2 つを合わせた『10 億円未満』の企業が全体の 97.0%を占めた。

従業員数別にみても同様の傾向で、「5 人未満」が構成比 60.3%（1383 社）で最も高く、「5～10 人未満」が 17.4%（399 社）で続き、高リスク企業は小規模企業が圧倒的に多いことがわかった。

■売上高別 高リスク企業数




■従業員数別 高リスク企業数




## まとめ

多くの中小・零細企業は人手不足を解消することは難しく、生産性の向上による継続的な賃上げや、賃上げ原資を確保するための価格転嫁は容易でない。しかし、これまで以上に賃上げや物価上昇を前提とした経営が求められ、企業間の格差拡大が見込まれるため、倒産の約 9.4 倍に相当する休廃業・解散をはじめ、業績不振の続く、中小・零細企業の破綻は減少に転じることはなく、幅広い業種で倒産が増える懸念が強まっている。

【問い合わせ先】　株式会社帝国データバンク　岡山支店　担当：越久田（おくだ）
TEL：086-224-4681　　FAX：086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

©TEIKOKU DATABANK, LTD.